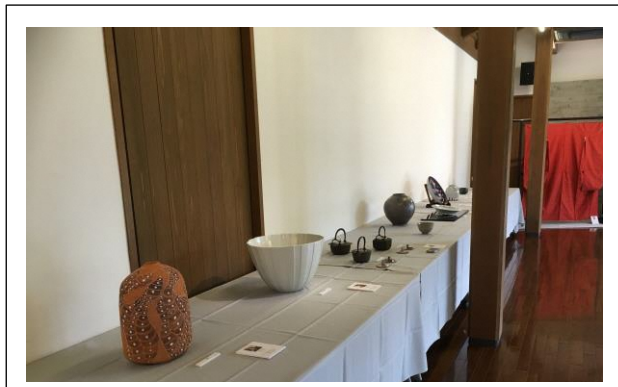


(活動報告書様式)

団体名	やまがた工芸の会		
事業名	山形の伝統工芸と技術を守り伝えるための文化振興事業		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	長井市	事業費	229,374 円
		うち助成金額	226,934 円



■事業目的

私たちは先人たちから受け継いできた有形・無形の文化や文化財を守り、育み、活かし、伝えていく責務があり、また、工芸作家は、山形の風土と文化に生まれ、伝承されてきた技術と材料で、暮らしに必要で、かつ彩を添える“美しいもの、”を創作してきた。

文化による心豊かな生活と活力ある地域社会の実現が求められる中で、本県で生まれた工芸作家の作品を鑑賞し、あるいは実際に手に取り使う機会を提供することで、郷土・山形の先人たちの美と知恵と技術の継承、次代への創造の展開を図り、文化振興に資することを目的に実施した。

■実施内容

(1)やまがた工芸の会会員展及び企画展の開催

[期日]10月21日～23日
[場所]洗心庵多目的ホール等
[来場者]約230名

工芸分野全般にわたる作品

の展示は県内でも稀有な企画で、企画展は県との併催により「秋の食卓を彩るお酒と器展」と題して開催。会員展には20点、企画展には14点の作品を出品した。

(2)「お茶会」「華展」の開催

[期日]10月22日・23日
[場所]洗心庵和室研修室等
[来場者]約80名

山形の工芸に触れ、魅力を知る機会として、お茶会は裏千家・表千家、華展は栖草流と協働して開催。華展には花器5作品、お茶道具として12作品出品した。

(3)やまがた工芸の会作品展

※補助対象外事業として実施
[時期]6,7,10,11月の計4回
[場所]gura ラウンジホール
[来場者]約400名

工芸品に触れ活用することで工芸品の魅力を再認識していただく機会として、日常生活で使用する作品を展示販売

■事業の成果・今後の展望

(1)事業の成果

県内で活躍する工芸作家の作品を観て触れてもらうことで、伝統工芸や工芸文化が多くの県民に認識され、理解され、愛され、伝えていくために必要な底辺の拡大と文化意識の高揚に一定の成果があったと考える。アンケートでは「山形にこんなに素晴らしい作家の方々が活動されていることに驚きまた感動した」といった声が寄せられた。

(2)今後の展望

この度の企画展で初めて食卓を模した展示を行うなど、日常生活をイメージした展示を行うことで工芸作品に対する関心をより喚起できたと考える。今後とも効果的な方法を検討しながら開催し、工芸に対する県民の理解を深め、山形の工芸文化の普及、文化振興の一翼を担っていきたいと考えている。

当会のこれまでの活動実績及び今年度の計画はホームページをご覧ください。

<https://www.yamagata-kogei.com/>